

下仁田町第5次総合計画(案)に関するパブリックコメントの実施結果について

○ 募集期間

平成28年12月1日(木)～12月20日(火)

○ 意見の提出者数

2名

○ 意見の件数

21件

○ 意見の概要と町の考え方

No.	項目	意見の概要	町の考え方
1	第1編 総論 第3章 下仁田町に関する基本的な事項 1 下仁田町の概況 (3)社会的条件	交通の便がよいことが強調されているにもかかわらず、人口減少が止まらないことを分析するべきである。	平成27年に策定した「下仁田町人口ビジョン」で人口の動向を分析するとともに、人口減少問題を克服するため「下仁田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少対策に取り組んでいるところです。
2	第1編 総論 第3章 下仁田町に関する基本的な事項 4 行財政の状況	「財政の硬直化傾向」とあるが、より徹底した財政改革を断行のための具体的計画を作成・実行するべきである。	平成29年に「第5次下仁田町行財政改革大綱」及び「下仁田町公共施設等総合管理計画」を策定し、それに伴う行財政改革実施計画及び個別施設計画の作成を進めています。
3	第1編 総論 第4章 アンケートによる町民意向 3 主な回答結果 (3)これまで進めてきたまちづくりの「満足度」と、これからの「重要度」 教育及び地域文化の振興について	アンケート結果では「生涯学習の推進」、「地域文化の振興」が重要であると回答している比率が高いにもかかわらず、満足度が低いので具体策を作成・実行するべきである。	ニーズにあった公民館講座や行政出前講座を充実させるとともに、公民館を中心に歴史館や自然史館を学習活動の場として強化するなど生涯学習の推進、地域文化の振興に取り組んでいきます。
4	第1編 総論 第4章 アンケートによる町民意向 3 主な回答結果 (4)結婚に関する行政支援のニーズ	アンケート結果では結婚支援は「特に必要ない」が259件と最も多いが、町内の婚姻率が下がれば人口減少につながることで、危機感を共有し、引き続き人口を増やすための政策を行うべきである。	結婚相談窓口の開設や出会い交流の場の提供等、引き続き結婚への支援に取り組めます。
5	第3編 基本計画 第1章 地域資源を活かした活力あふれるまちづくり 1 農林業の振興 町の取り組み (1)農業 ⑤有害鳥獣対策	害獣駆除について、現在は捕獲が主であるが、視点を変えて害獣を増やさないという観点から動物学者等と協力し、動物の生理的根源に立ち入った方法で害獣の発生をコントロールする方式も考え、捕獲と増大防止という両面からの対応が必要である。	現在、町では有害鳥獣の捕獲圧を高めることを主力として取り組んでいますが、下仁田町有害鳥獣対策協議会の構成員に、学識経験者として獣医師及び研究者がおりますので、ご提案いただいた方法について意見をいただき増大防止を検討していきます。

No.	項目	意見の概要	町の考え方
6	第3編 基本計画 第1章 地域資源を活かした活力あふれるまちづくり 1 農林業の振興 町の取り組み (2)林業	町面積の約80%を占める森林資源(特に人工林)を利活用するため、CLT用材(直交集成板)への活用を検討するべきである。	CLTの活用については、検討を進め、国内の動向を注視しています。道の駅再整備においては施設の一部にCLT建造物を導入するなど、公共施設等の建設においても地域産材を活用したCLT工法の採用について検討していきます。 また、伐期を超過した人工林の利活用対策として、集約化施業による路網整備や高性能林業機械の導入等によりコスト削減を図り、森林経営の支援を検討しています。
7	第3編 基本計画 第1章 地域資源を活かした活力あふれるまちづくり 2 商工業の振興 町の取り組み (1)工業 ②企業誘致の促進	下仁田インターチェンジがある交通事情の利点を生かし、耕作放棄地活用による企業建設用地の確保、各種資材流通の利便性向上に着目した企業誘致を進め、働く場を創出することを提案する。	耕作放棄地の活用にはまずは所有者の意向がありますので慎重に検討する必要があります。ご指摘いただいた企業の誘致についても検討し、雇用の創出に繋がるように業種を問わず企業の誘致を検討していきます。
8	第3編 基本計画 第1章 地域資源を活かした活力あふれるまちづくり 4 しごとの創造 町の取り組み ②創業支援	地域おこし協力隊の任期満了後に定住しやすくなるように起業の支援等のアフターケアを行うべきである。	任期満了後の定住を図るため、起業の支援を進めていきます。
9	第3編 基本計画 第2章 自然と調和し、安心・安全に暮らせるまちづくり 1 道路網の整備 町の取り組み ③道路・橋梁管理	降雪(大雪)時、住宅街では雪捨て場が無く、除雪もままならず道路の両側に置かれたまま雪どけを待つことになり、人や自動車等の交通の妨げになるため、雪捨て場を特定していただきたい。	最寄りの町有地を検討いたします。また、群馬県と情報を共有し、県が管理する土地についても協議していきます。
10	第3編 基本計画 第2章 自然と調和し、安心・安全に暮らせるまちづくり 2 公共交通の確保 現状と課題	しもにたバスの利用について、まずは町内利用者を増やすよう取り組み、次に観光客等の町外利用者も乗りやすいようにすべきである。	利用者の増加、利便性の向上を図るため、運行形態について検討を進めます。
11	第3編 基本計画 第2章 自然と調和し、安心・安全に暮らせるまちづくり 2 公共交通の確保 町の取り組み ①上信電鉄の運行充実	「上信電鉄の運行充実」とあるが、現行のダイヤは改正前と比べ、朝の通勤時間帯の本数削減や終電時刻が1時間以上繰り上がるなど、充実どころか逆に不便な状態となったので改善するように働きかけるべきである。	上信電鉄全体の運行で捉えた場合、現行のダイヤは改正前に比べて運行便数も増えており運行の充実が図られています。下仁田町の乗り入れに対しても充実されるよう働きかけてまいります。

No.	項目	意見の概要	町の考え方
12	第3編 基本計画 第2章 自然と調和し、安心・安全に暮らせるまちづくり 3 水道及びガスの安定供給 町の取り組み (1)水道 ①水道施設整備	水道事業を民間事業に売り渡し、料金値上げ、水質悪化等の例があるので、水道は命に関わる重要なライフラインであるため町でしっかり水道施設の管理をするべきである。	水道事業は民間に売却することができません。効率化を図るため、一部の業務委託については検討していきます。
13	第3編 基本計画 第2章 自然と調和し、安心・安全に暮らせるまちづくり 3 水道及びガスの安定供給 町の取り組み (2)ガス ②ガス事業経営	ガス事業の民営化については、重要なライフラインであるため町でしっかり管理するべきである。	現在、全国のガス事業者の9割は民間事業者となっておりますが、事業展開に関しては、ガス事業法でしっかり守られております。行政改革の一環としてもガス事業の民営化を検討していきます。
14	第3編 基本計画 第2章 自然と調和し、安心・安全に暮らせるまちづくり 4 循環型社会の形成 町の取り組み ④廃棄物処理施設の運営	ごみ処理は生活に関わることなので町でしっかり処理体制を整えるべきである。	廃棄物処理施設は、下仁田町と南牧村で構成される一部事務組合で運営しています。市町村は管轄区域内において一般廃棄物の適正処理について「統括的な責任」を有し、その処理が滞らないように適正処理の継続的かつ安定的な実施を確保していくことが求められておりますので、今後も処理体制を整え、適正処理に努めます。
15	第3編 基本計画 第2章 自然と調和し、安心・安全に暮らせるまちづくり 6 消防・防災体制の強化 町の取り組み ③消防体制の強化	生命・財産にかかわることなので、下仁田消防署や西牧分遣署を維持するべきである。	消防・救急業務は、富岡市、甘楽町、南牧村と下仁田町で構成される一部事務組合で運営しています。消防力を適正規模に配置し、効果的な消防組織の実現と運用を図り、消防体制の強化に努めます。
16	第3編 基本計画 第3章 だれもが健やかにいきいきと暮らせるまちづくり 1 子育て環境の充実 現状と課題 町の取り組み ②少子化対策	結婚支援について効果がみられず、独身者も多い。危機感を持ち、手段を選ばず、成果を出すように全力で取り組むべきである。	全国的に結婚しない若者が増加傾向にありますが、NPO等と連携するなど、結婚観に対する意識変化がもてるような取り組みを推進します。
17	第3編 基本計画 第3章 だれもが健やかにいきいきと暮らせるまちづくり 6 医療・救急体制の充実 町の取り組み ①医療機関の充実	下仁田厚生病院は公的医療の重要拠点であるので民営化することなく、町で維持するべきである。	下仁田厚生病院は、下仁田町と南牧村で構成される一部事務組合で運営しています。地域住民の皆様が安心して暮らせるように、医療・保健・福祉・介護を一体とした地域の拠点病院としての役割を担ってまいります。

No.	項目	意見の概要	町の考え方
18	第3編 基本計画 第3章 だれもが健やかにいきいきと暮らせるまちづくり 6 医療・救急体制の充実 町の取り組み	いざという時に備え、AED(自動体外式除細動器)の取扱いの実演講習会の実施すべきである。また、救急車とドクターヘリの接点ヘリポートの場所を町民に認識してもらうため公表してはどうか。	AEDの講習会については、下仁田消防署による救急救命講習会やAEDの使い方等の講習を実施しています。 また、ヘリポートの場所は全戸配布いたしました防災マップに記されております。
19	第3編 基本計画 第4章 地域に愛着と誇りを持ち、未来を拓く人を育むまちづくり 2 生涯学習の推進 現状と課題 表: 下仁田町公民館図書室利用の推移	利用の減少は、図書室であるからで図書館未設置自治体のためである。町民の利用が増えるように条例を整備し、正職員の専門職員を置いた町立図書館をつくるべきである。	公民館図書室の充実、利便性の向上を図ることにより、図書館機能を公民館に持たせることができると考えます。
20	第3編 基本計画 第5章 町民とともに歩み、協働と連携で創るまちづくり 1 町民協働のまちづくりの推進 町の取り組み ①地域協働社会の推進	町民が行政運営への積極的な参加、参加できるよう、町民集会のようなものを作り、全ての町民が意見や考えを言うことができ、決定できる場をつくるべきである。	行政運営に町民の意見を取り入れるため、集会やパブリックコメントを実施するなど、行政へ参加できる場をつくり、協働のまちづくりを推進します。
21	第3編 基本計画 第5章 町民とともに歩み、協働と連携で創るまちづくり 2 効率的行政運営 町の取り組み ①行財政改革の推進	廃校校舎(特に旧西牧小学校校舎とプール)が有効に利活用されていないので真剣に討議するべきである。	平成29年に「下仁田町公共施設等総合管理計画」を策定し、それに伴う個別施設計画の作成を進めており、取り壊しを含め活用方法を検討しています。